

03. ● 8月4日(木) ニセコアンヌプリ(1309m) 曇

・ニセコといえばニセコアンヌプリというほどスキー場としてあまりにも有名なこの山にまだ登ったことが無い。後志羊蹄山では真正面に見ながら登り、去年は登山口が同じで対面のイワオヌプリに登っている。どんな山か一度は登ってみたいと今年に計画した。

・5時に起床。昨夜は6回もトイレに起きた。なにしろ昨日の炎天下の余市岳登山でのどが渴いたので水をがぶがぶ飲んだ上にビールを3缶も飲んだのだから当然か。隣に泊った札幌ナンバーのランクルのご夫婦はまだ寝ている。朝食を済ませ身支度をして6時に出発、登山口の五色温泉へ向けて車を走らせた。



羊蹄山の山頂はすっぽりと雲に

・昨日は快晴だったのに今日の天気はあまりよくない。羊蹄山の山頂はすっぽりと雲に覆われ、ニセコアンヌプリもチセヌプリも山頂には雲がかかっている。ただ天気予報では昼間は晴れるという。この雲もそのうち晴れるだろうと思いながら7時に登りはじめた。標高は1300m余あるが登山口が標高770mもあるので、登りは600mくらい。どおってことない、1時間ちょっとの登りだ。登山届けを見ると5時台に3人入山している。登山道はハイキングコースなので良く整備されている。



ニセコアンヌプリ登山口

登るにつれて晴れるどころかどんどん雲が多くなり、900m付近からは霧の中に突入し、最後は強風の霧の中をやっと山頂に辿り着いた。それでも登山道の両側はオトギリソウが延々と続いて咲いていて実にきれいだ。山頂付近ではツルリンドウ、ウメバチソウ、チシマフーロなどが咲いていて花が多い。6月ごろに来たらさらに多くの花々が咲いていてきれいだろうなと思った。



オトギリソウ、ウメバチソウ



アンヌプリ山頂・後は避難小屋

・山頂には立派な避難小屋があり天候回復を期待して小屋の中で 30 分近く様子を見たが、吹き飛ばされそうな強風と視界を遮る霧は収まる気配もないので、なすすべも無く下山した。登山口に着いたのがまだ 10 時だったので、これから登り始める沢山のひとすれ違った。夏休みだからだろうか家族連れなどの団体が多かった。

・昨日休館で入れなかったニセコ綺羅の湯にゆっくり浸かって、今日の宿泊地、道の駅「ニセコビュープラザ」に着いた。

山と違ってここは雲が全く無く晴天、真夏の太陽が容赦なく照り付けて地獄の暑さ、なにしろまだ昼過ぎで、一番暑い時間帯だ。小屋の日陰に入って日記を書き始めたが、汗が噴出して折角着替えてシャツがまた汗で濡れてきた。



隣に大阪のご夫婦がトリビュートで

・隣に大阪のご夫婦がマツダトリビュートで到着、今日はここで泊るといふ。夕食の用意でご飯を炊きだしたが全て旦那さんがやって、奥さんは何もしない。旦那さんといろいろ話をした。山と温泉を巡っての旅をしているといふ。明日は羊蹄山に登りたいと云っているが奥さんは乗り気なし、面白い夫婦、よく旅が続いているな！

北海道には夏場 3 から 4 ヶ月も滞在しもう 10 年も来ているといふ。車の中に冷蔵庫も完備し、炊飯器で飯を炊き車内で食事をとる。(最近車内で食事をとるご夫婦が多い。車の外へあまり出てこないから周りとの会話も無い。)

・ニセコ周辺は天気予報通り晴れて真夏の暑さだったが、ニセコアンヌプリの山頂は結局一日中雲に覆われていた。しかし夕方になってその雲も無くなり羊蹄山が頭を現してきた。日が傾くとさすが北海道、すっかり涼しくなり裸でいると寒いくらい。私も間近に聳える羊蹄山を見ながら夕食開始。食事をしながらパソコンに今日の写真を取り込んだり、皆さんにメールを送ったり。ここの電波状態は良好で、テレ



ピは良く映るし、メールも全く問題なく繋がる。  
明日の天気はどうか？ 7時過ぎに就寝。

・ニセコアンヌプリ、今回は季節が夏であまり花が多くなかったが、雪解けの春は花がいっぱいありそうだ。  
今回は裏側の五色温泉から登ったが、次回はスキー場のゴンドラに乗って表側からせめてみようと思う。